

個々の問題の出題の意図及びその正答率

社会 中学校 第2学年

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点			正答率
	大問	小問	通番		思考・判断	観察・資料活用・表現	知識・理解	
地理的分野	①	1	1	地図やグラフからアメリカの自然環境の特色を正しく読み取ることができる。				63.0
		2	2	アメリカの農業の特色について、一人あたりの農地面積や機械の保有台数から読み取ることができる。				86.1
		3	3	グラフや文章から、オーストラリアの人々の様子について読み取り、簡潔にまとめることができる。				88.2
		4	4	フランスの貿易の特色について、複数のグラフを関連付けて考え、判断することができる。				63.4
		5	5	中国の工業の変化について、グラフから工業製品の生産が増えていることを読み取り、増えてきた理由を国の政策と外国企業の進出から考えることができる。				48.3
	②	1(1)	6	気温や降水量の変化のちがいがら、日本の気候の地域差を考えることができる。				61.5
		1(2)	7	地形や他の自然条件による影響から太平洋側と日本海側の気候に違いを生み出している原因を正しく理解している。				56.0
		2(1)	8	面積の数値をもとに、日本の国土のうち「山地と丘陵地」が占める割合を計算し、グラフにあらわすことができる。				25.1
		2(2)	9	日本と世界の川を比較し、長さや傾きの違いから日本の川の特徴を考えることができる。				79.9
		2(3)	10	川の働きによってつくり出される地形について、地形図をもとに理解している。				65.6
歴史的分野	③	1	11	江戸時代の外国とのかかわりについて、時代の大きな流れのなかで考えることができる。				21.2
		2	12	グラフ資料の百姓一揆や打ちこわしの発生件数の変化から、江戸時代の農民の様子を読み取ることができる。				89.0
		3	13	江戸時代の文化について、その特徴と主な作品について正しく理解している。				20.8
	④	1	14	大政奉還が行われた場所を、地図を活用して適切に示すことができる。				17.6
		2	15	近代化を進めた明治政府の政策の内容にあてはまる資料を、絵や写真資料のなかから選択することができる。				68.7
		3	16	自由民権運動とは、言論により国民の参政権の確立を目指したものであることを理解している。				51.7
		4	17	大日本帝国憲法が制定され、天皇が元首として国を治めていくしくみについて、大日本帝国憲法の内容やしきみを示した図から読み取ることができる。				47.3
		5	18	日本の産業の近代化の中心となった製糸業で働く人の様子を理解している。				58.3
		6	19	近代日本の歩みと深いかわりのある中国の王朝名を正しく理解している。				59.4
		7	20	日露戦争のおもな戦場が中国や朝鮮半島となった理由を、帝国主義による列強のアジア進出と三国干渉をめぐる日本とロシアの対立という点から考えることができる。				35.8